



[illegible]

林武公之弟  
為多士中

何處何處  
何處何處  
何處何處

善由濟

右ノミハ申シ水ノミナリ  
少シ長子録ハミナリ  
十ノミナリ  
山ノミナリ  
石ノミナリ

[illegible]

天竺山人

夕月十三日

柳

史學博士 佐々木 康

名

竹園造如  
以清

13

痛口十毒

仁事んちりて二月たふて病を  
いせりるるおのれを

以書為記

7

十六

一 夕 相 月 上 雲 雲 之 例 之 功 主 善 心  
一 總 如 手 取 此 是 之 全 之 善 心 善 心  
不 拔 不 少 是 之 善 心 善 心

一 徳島藩に在る者なり 徳島藩に在る者なり

徳島藩に在る者なり

徳島藩に在る者なり 徳島藩に在る者なり

徳島藩に在る者なり 徳島藩に在る者なり

徳島藩に在る者なり

徳島藩に在る者なり

徳島藩に在る者なり 徳島藩に在る者なり

徳島藩に在る者なり

一 徳島藩に在る者なり

徳島藩に在る者なり 徳島藩に在る者なり

徳島藩に在る者なり





此の二言同く  
りて其の  
一を  
いふ

一 此の二言同く  
りて其の  
一を  
いふ

此の二言同く  
りて其の  
一を  
いふ

一 此の二言同く  
りて其の  
一を  
いふ

此の二言同く  
りて其の  
一を  
いふ

一 此の二言同く  
りて其の  
一を  
いふ

此の二言同く  
りて其の  
一を  
いふ

此の二言同く  
りて其の  
一を  
いふ

此の二言同く  
りて其の  
一を  
いふ

此の二言同く  
りて其の  
一を  
いふ

此の二言同く  
りて其の  
一を  
いふ









三冊其初冊は死にありてあるものなり  
此の二冊は死にありてあるものなり  
二冊は死にありてあるものなり

仁孝天皇御宇  
丁酉年

今御書に記されし所は、  
おぼやかしき事なり。所  
由は、  
御書に記されし所は、  
おぼやかしき事なり。所  
由は、

おぼやかしき事なり。所  
由は、  
御書に記されし所は、  
おぼやかしき事なり。所  
由は、  
御書に記されし所は、  
おぼやかしき事なり。所  
由は、

[illegible]

丁巳年  
 二月  
 廿五日  
 晴  
 風和日麗  
 遊山玩水  
 樂不可支  
 歸來作此  
 詩以記之

丁

生方子

李方子

今更ん

一、  
二、  
三、  
四、  
五、  
六、  
七、  
八、  
九、  
十、

一、  
増  
石  
門

市書白名錄







人信者此書をよみては可なりと云ふ事  
我中より主仲のなるは可なりと云ふ事  
之を主仲と云ふは信する事なり

上り書

角の書

今も此書を信じて居る人ありと云ふ事  
信する事なりと云ふ事なりと云ふ事  
此れなりと云ふ事

角の書

角の書は可なりと云ふ事  
少くも此書を信じて居る人ありと云ふ事

角の書は可なりと云ふ事

角の書

角の書は可なりと云ふ事

角の書

角の書は可なりと云ふ事

角の書は可なりと云ふ事

角の書は可なりと云ふ事

角の書は可なりと云ふ事

角の書は可なりと云ふ事

角の書は可なりと云ふ事

角の書は可なりと云ふ事

角の書は可なりと云ふ事











一 心算のつとめ  
一 算のつとめ  
一 算のつとめ  
一 算のつとめ  
一 算のつとめ

一 算のつとめ  
一 算のつとめ  
一 算のつとめ  
一 算のつとめ  
一 算のつとめ

一 算のつとめ  
一 算のつとめ  
一 算のつとめ  
一 算のつとめ  
一 算のつとめ

一 算のつとめ  
一 算のつとめ  
一 算のつとめ  
一 算のつとめ  
一 算のつとめ

一 算のつとめ  
一 算のつとめ  
一 算のつとめ  
一 算のつとめ  
一 算のつとめ



下

下

一 不知何處創設此等事務

一 不知何處創設此等事務

一 不知何處創設此等事務

下

右の如き事は、  
左の如き事は、

一 不知何處創設此等事務

一 不知何處創設此等事務

一 不知何處創設此等事務

一 不知何處創設此等事務

一 不知何處創設此等事務

一 不知何處創設此等事務

